

II 電子マネーの保有・利用状況

1 電子マネー^{※2}利用世帯の割合は引き続き上昇

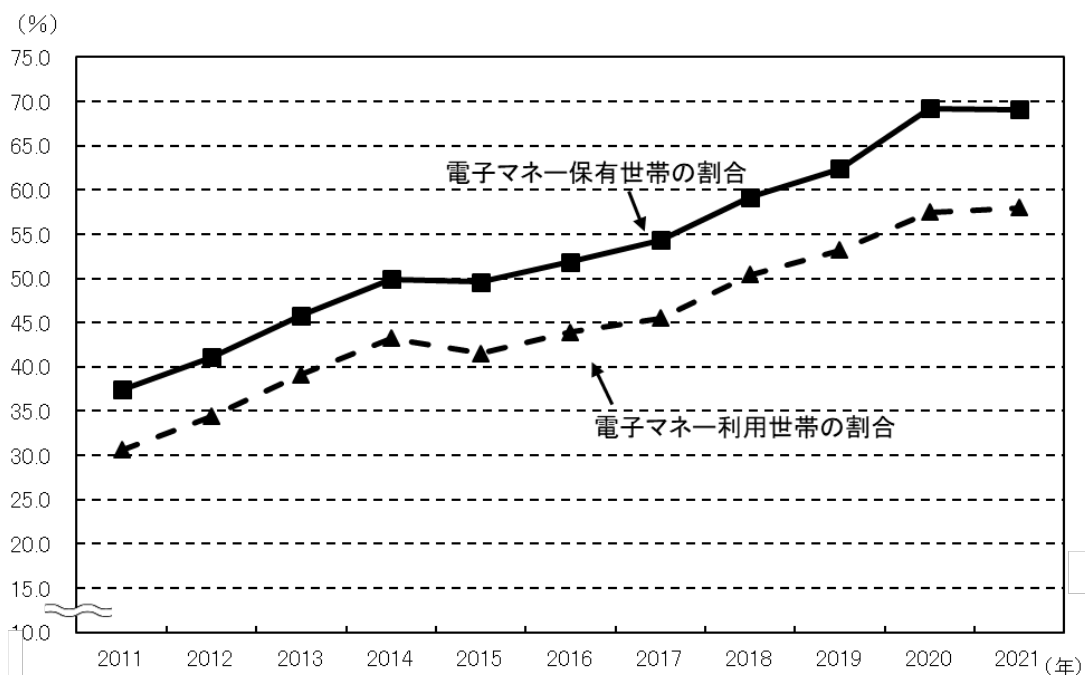
2021年の二人以上の世帯における電子マネーを保有している世帯員がいる世帯（以下「電子マネー保有世帯」という。）の割合は69.1%で、前年に比べ0.1ポイントの低下となった。

また、電子マネーを利用した世帯員がいる世帯（以下「電子マネー利用世帯」という。）の割合は58.0%で、前年に比べ0.5ポイントの上昇となった（表Ⅱ-1、図Ⅱ-1）。

表Ⅱ-1 電子マネー保有・利用世帯の割合の推移（二人以上の世帯）

年次	電子マネー 保有世帯(%)	電子マネー 利用世帯(%)
2011年	37.4	30.6
2012	41.1	34.4
2013	45.8	39.1
2014	49.9	43.2
2015	49.6	41.5
2016	51.9	43.9
2017	54.3	45.5
2018	59.2	50.4
2019	62.4	53.2
2020	69.2	57.5
2021	69.1	58.0

図Ⅱ-1 電子マネー保有・利用世帯の割合の推移（二人以上の世帯）



※2 この調査での「電子マネー」とは、事前に現金と引換えに金銭的価値が発行されたICカードやプリペイドカード等（次の例を参照）をいう。

例) Suica、ICOCA、PASMO、nanaco、WAON、楽天Edy、WebMoney、BitCash、クオカードなど
なお、デビットカードや、クレジットカードのような後払い方式の決済サービスは含まない。

また、図書カードなどのように特定の商品・サービスしか購入できないプリペイドカード等も含まない。

2 電子マネー利用世帯の割合は、世帯主が40歳代の世帯で最も高い

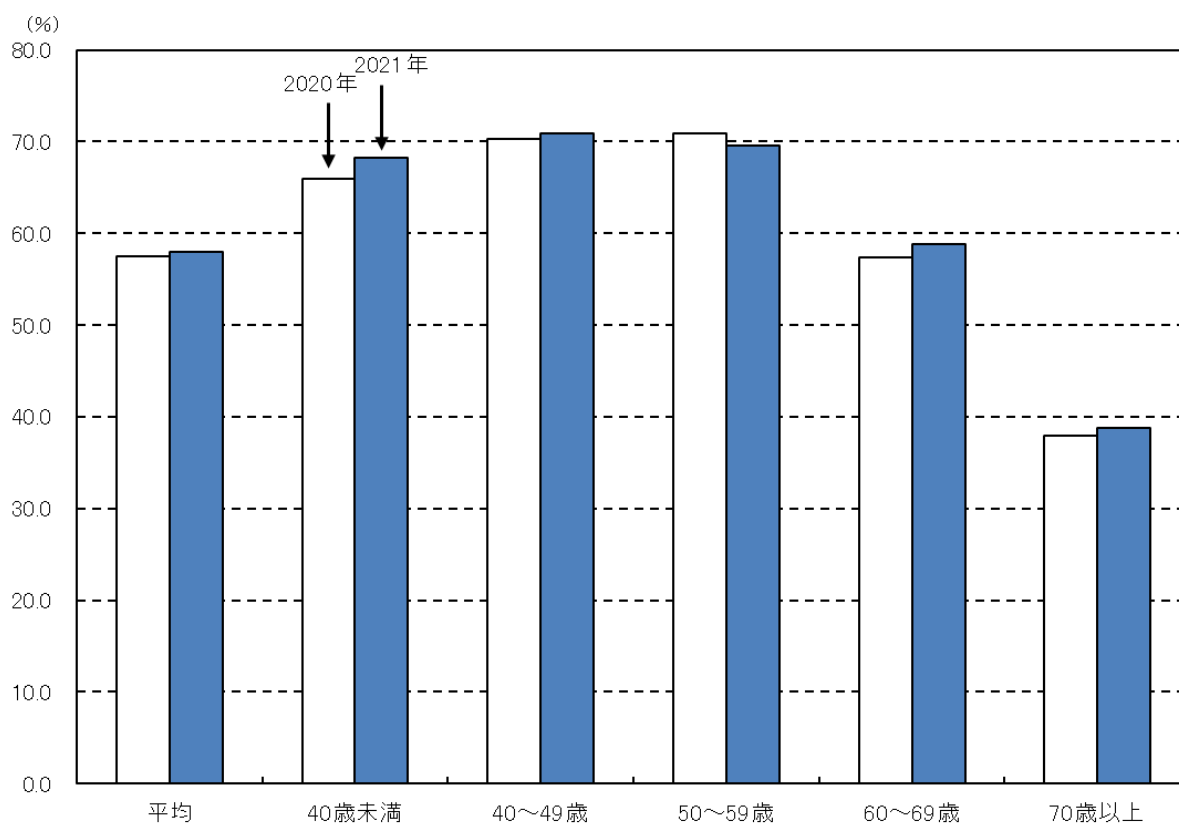
2021年の二人以上の世帯における電子マネー利用世帯の割合を世帯主の年齢階級別にみると、40～49歳が70.9%と最も高く、次いで50～59歳(69.6%)、40歳未満(68.2%)などとなった。

前年と比べてみると、40歳未満が2.3ポイントの上昇、次いで60～69歳が1.4ポイントの上昇となるなど、50～59歳を除く各年齢階級で上昇となった(表Ⅱ-2、図Ⅱ-2)。

表Ⅱ-2 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の割合(二人以上の世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
割合(%)						
2020年	57.5	65.9	70.3	70.9	57.4	37.9
2021年	58.0	68.2	70.9	69.6	58.8	38.8
対前年増減(ポイント)						
2021年	0.5	2.3	0.6	-1.3	1.4	0.9

図Ⅱ-2 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の割合(二人以上の世帯)



3 電子マネー利用金額は、交通機関以外での利用が増加

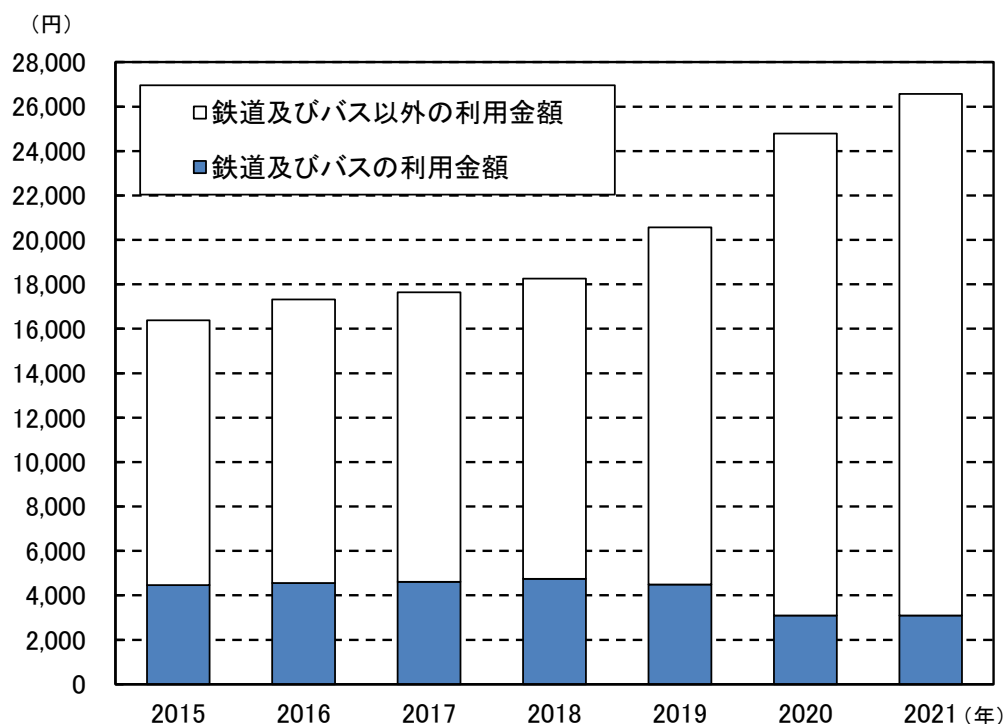
2021年の電子マネー利用世帯（二人以上の世帯）における電子マネーの利用金額は、1か月平均26,568円で、前年に比べ7.2%の増加となった。

また、電子マネーの平均利用金額に占める鉄道及びバスの利用金額の割合は11.6%で、前年に比べ0.9ポイントの低下となった。電子マネーを交通機関以外でも使用する機会が年々増えていることに加えて、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響も受けたと考えられる（表Ⅱ-3、図Ⅱ-3）。

表Ⅱ-3 電子マネー利用世帯の1か月間の平均利用金額の推移（二人以上の世帯）※3

年次	平均利用金額(円)	鉄道及びバスの 利用金額(円)	平均利用金額に占める 鉄道及びバスの 利用金額割合(%)
2011年	11,116	-	-
2012	11,269	-	-
2013	12,044	-	-
2014	12,480	-	-
2015	16,382	4,468	27.3
2016	17,318	4,553	26.3
2017	17,644	4,603	26.1
2018	18,256	4,746	26.0
2019	20,567	4,487	21.8
2020	24,790	3,098	12.5
2021	26,568	3,088	11.6
2021年の対前年 名目増減率(%) 及び対前年増減 (ポイント)	7.2	-0.3	-0.9

図Ⅱ-3 電子マネー利用世帯の1か月間の平均利用金額の推移（二人以上の世帯）



※3 2015年1月に調査票を変更した。このため、電子マネー利用世帯における1か月間の平均利用金額については2014年12月以前の結果と時系列で比較する際は注意が必要である。

4 電子マネー利用金額は、世帯主が40歳未満の世帯で最も増加率が高い

2021年の電子マネー利用世帯（二人以上の世帯）における電子マネーの利用金額を世帯主の年齢階級別にみると、60～69歳が1か月平均27,873円で最も多く、次いで50～59歳（27,522円）、40～49歳（26,737円）などとなった。

前年と比べてみると、40歳未満が13.9%の増加、次いで40～49歳が10.4%の増加となるなど、全ての年齢階級で増加となった（表Ⅱ－4、図Ⅱ－4）。

表Ⅱ－4 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2020年	24,790	21,242	24,213	25,792	26,426	23,976
2021年	26,568	24,192	26,737	27,522	27,873	25,328
対前年名目増減率(%)						
2021年	7.2	13.9	10.4	6.7	5.5	5.6

図Ⅱ－4 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（二人以上の世帯）

